

平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	産業振興課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	4. 多様な観光メニューの開発による観光の振興
分野別方針	(2) 商工業の振興
実施計画事業	商工業振興対策事業 (No.60)

	予算事業名	事業費 執行率 (%)	総合評価
01	商工業振興対策経費	98.0%	B
02	商店街景観形成事業	94.0%	B
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	・ハンギングバスケットの管理が町が中心になっているため、速やかに商店会が中心になる必要がある		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明	商業振興のため、商工会、商連の助成を引き続き推進する必要がある。 商店街を活性化するため、花で彩り、消費機会の拡大の一助となった。

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	商工会、商連が町補助金の依存体制から、国・県補助金を活用し、自主的に事業、イベント実施にシフトするように促す。 また、商店街景観形成事業の第2ステップとして、まちゼミを実施していく。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	商工業振興の観点から、事業継続は必要である。		